

2014年度 新宿区多文化共生連絡会 第1回全体会会議概要

日時 2014年5月23日(金) 18時~20時
場所 しんじゅく多文化共生プラザ 多目的ルーム
参加者 21団体/34名(うち区7名)

1 事務局挨拶

- ・本年度の連絡会は、情報共有とネットワーク化の促進を重点に運営したい。

2 議題

(1) 2014年度の連絡会運営について

- ・連絡会に参加されている方は、様々な分野で多文化共生に貢献されている。今年度の連絡会は、参加者同士がつながるネットワークの形成、イベントなどの情報交換、参加団体の活動の役に立つことを目標とした運営に力を入れていきたい。
- ・参加団体の情報を共有することなどを目的とするメールマガジンの月1回の発行を試行する。については、連絡会の参加団体からの情報提供をお願いする。

(2) 参加者自己紹介

- ① 新宿未来創造財団
- ② 東京ボランティアネットワーク(日本語教室)
- ③ ネパール新聞・エベレストインターナショナルスクール
- ④ NPO 法人多文化共生センター東京
- ⑤ サプコタ・ティルト(個人参加)
- ⑥ サム教育学院(日本語学校)
- ⑦ 共住懇
- ⑧ 紀伊國屋書店・ヴィアックス共同事業体(大久保図書館)
- ⑨ 浜松市 国際課(しんじゅく多文化共生プラザ視察での参加)
- ⑩ 国連難民高等弁務官駐日事務所(UNHCR) 法務部(区内で難民の相談事業)
- ⑪ みんなのおうち
- ⑫ 国際交流基金 日本研究・知的交流部
- ⑬ 新宿区社会福祉協議会
- ⑭ 日本ブラインドサッカー協会
- ⑮ 四谷大好き祭り実行委員会
- ⑯ 新宿区職員労働組合
- ⑰ 新宿 NPO ネットワーク協議会
- ⑱ 東京富士大学
- ⑲ 友ランゲージアカデミー(日本語学校)
- ⑳ 在日本韓国人連合会
- ㉑ 明治大学国際日本学部学生 4名(しんじゅく多文化共生プラザ視察での参加)

(3) 世話人選出

新宿区多文化共生連絡会会則第6条第2項により世話人の選出を行った。

2014年度世話人	コリアNGOセンター	金 朋央
	東京中国人センター・プラザ相談員	山本 風彬
	東京日本語ボランティアネットワーク	梶村 勝利

(4) 区からのお知らせ

<担当課報告>

- (ア) 消費生活センターのお知らせ（消費者支援等担当課）
- (イ) 子ども家庭支援センター（子ども総合支援センター）
- (ウ) 大久保図書館事業のご案内（大久保図書館）

<資料配付>

- (ア) 新宿区子ども家庭部事業のご案内（子ども家庭課）
- (イ) 子育てメッセ(6月8日)（子ども家庭課）
- (ウ) 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時福祉給付金（臨時福祉給付金等対策室）
- (エ) グラフ新宿区（区政情報課）
- (オ) しんじゅくニュース（多文化共生推進課）

(5) 参加団体からのお知らせ

- (ア) ウェルカムオリンピック四谷の協力依頼について（四谷大好き祭り実行委員会）
- (イ) 東京日本語ボランティアネットワーク事業活動報告
- (ウ) よりそいホットライン（コリアNGOセンター）（※資料配付のみ）

(6) 今年度連絡会で取り上げたいテーマなど

- ① 留学生と新宿区内の社会人との交流会の提案(新宿 NPO ネットワーク協議会他からの提案)

今後社会で活躍する留学生の支援として社会人との交流の機会を設けたい。外国人が日本で仕事をすると、という視点での行事を秋か冬頃に実施したい。この事業を一緒に実施していただける団体があったらお願いしたい。アジアリンクのイベントを視察し次回具体的な内容を報告する。

(意見) 留学生だけでなく、外国にルーツを持つ大学生にも対象を広げてほしい。

- ② 事務局から次回以降の連絡会の進め方を提案

- 例えば、日本語学校の方が最近のベトナムの状況について話ができると聞いている。各団体の取組みから発表の時間を設けるのはいかがか。
- 今回は自己紹介と区からの情報で時間を割いたが、次回からは、参加団

体からの情報提供を行っていく。